

整理番号	2017M-	062	補助事業者名	地方独立行政法人山口県産業技術センター	事業項目名	低真空走査電子顕微鏡
------	--------	-----	--------	---------------------	-------	------------

別紙 JKA補助事業 平成29年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2018	年	1	月	24	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者(ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を、予定どおり行い、低真空走査電子顕微鏡を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等への活用を開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成・配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。			採点	
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札等が順調に進み、無事導入することができた。機器の担当職員を3名体制として、円滑な運用ができる体制とした。			採点 4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 平成29年11月	[達成状況] 120%	[具体的内容] 平成29年11月6日に検収を実施した。予定を大きく上回って早期に導入できた。	採点 5
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 82.7時間/月 2: 90%[満足・やや満足が9社(調査数10社)]	[達成状況] 1: 165% 2: 129%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を大きく超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分あったと考える。	採点 5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 388部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 388% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを388部配布した。配布先は、各種研究会企業(やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会、3Dものづくり研究会、衛星データ解析技術研究会)、各種会議(分科会、セミナー等)。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
	競争・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 388部 2: 3箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 388% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで発行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、388部配布した。今後、同様の旨を記載した「開放機器一覧」も発行予定である。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している部屋、玄関ロビー、技術相談室受付付近へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
(5) 自己評価の体制	平成30年1月24日に評価委員会(理事長外9名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録、議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			採点 4	

(b) 総合評価

総合評価点	5
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査を行い、県内企業のニーズを把握した上で企業の関心の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。予定より早期に導入でき、導入後も、想定を上回る利用状況である。 【課題・改善すべき点】特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	導入した機器は、金属、無機、有機物等の高倍率観察や表面成分分析について、これまでの現有機器と比較して著しい能力の向上により、より高精度、高感度な分析が可能となった。加えて、大型の試料の観察・分析が新たに可能となったことや試料の分析位置確認が非常に容易にできる等の操作性にも優れるために、県内企業のものづくり技術の高度化やこれまで利用の無かった新たな企業の利用も期待できる。

整理番号	2017M-	062	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	引張圧縮試験機
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 平成29年度 事前計画／自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2018	年	1	月	24	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を、予定どおり行い、引張圧縮試験機を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等への活用を開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。			採点	
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札等が順調に進み、無事導入することができた。機器の担当職員を2名体制として、円滑な運用ができる体制とした。			採点 4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 平成29年12月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 平成29年12月15日に検収を実施した。	採点 4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 43.5時間/月 2: 100%[満足が5社(調査数5社)]	[達成状況] 1: 174% 2: 143%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を大きく超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分あったと考える。	採点 5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 388部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 388% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを388部配布した。配布先は、各種研究会企業(やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会、3Dものづくり研究会、衛星データ解析技術研究会)、各種会議(分科会、セミナー等)。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
	競争・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 388部 2: 3箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 388% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで発行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、388部配布した。今後、同様の旨を記載した「開放機器一覧」も発行予定である。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している部屋、玄関ロビー、技術相談室受付付近へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
(5) 自己評価の体制	平成30年1月24日に評価委員会(理事長外9名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録、議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			採点 4	

#### (b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査を行い、県内企業のニーズを把握した上で企業の関心の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。導入後も、想定を上回る利用状況である。 【課題・改善すべき点】特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器は、従来の機器で未実施であった校正(検定)を受けたことで試験機としての信頼性を確保し、地域企業に安心して使用してもらうことが可能となった上、これまで実施できなかった依頼試験に対応できるようになるなど、地域企業からの要望に応えられるようになった。また、試験片及びロードセルの保護機能の追加など操作性・安全性が向上し、より使い易く安全な試験が可能となった。加えて、試験治具の充実や従来機器ではできなかったサイクル試験や任意の動作パターン試験が可能となったことにより、対応できる試験や対象が広がり、これまで利用の無かった新たな企業の利用も期待できる。